

# 生まれ変わる旧小学校

平成 23 年 3 月に閉校した「旧もみじ台小学校」と「旧もみじ台南小学校」。

平成 24 年 11 月から新たな施設として生まれ変わります。

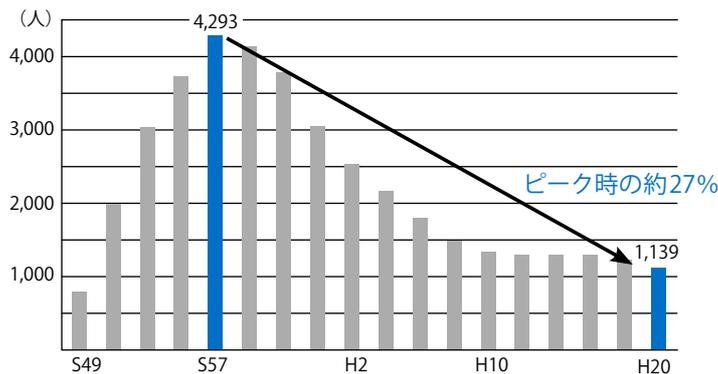
今月の特集は、新たな施設と地域のまちづくりにおける活用について紹介します。

## もみじ台地域を取り巻く環境

もみじ台地域は、高度経済成長などに伴う人口集中に対応するため、約 40 年前に開発された住宅地です。開発当時は子育て世代が多く居住し、小学校の児童数はピーク時の昭和 57 年度には 4,293 人でした。しかし、住民の年齢や世帯構成の変化などにより児童数が減少し、子どもたちの教育環境の維持・向上を図るため、小学校を 2 校に統合することになりました。

もみじ台地域の児童数推移

札幌市教育委員会調べ



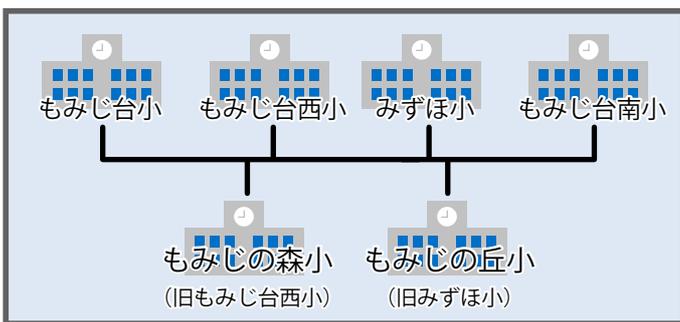
## 協働で考えるまちづくりの方向性

少子化が進む一方で、もみじ台地域は市内でも高齢化率が高く、高齢者をはじめとする居住者の生活支援や、地域の交流などが地域の課題になっています。これらの課題に対応するため、平成 19 年度から地域住民と市の協働により、具体的な取り組みについての検討を始めました。



平成 20 年度には、もみじ台まちづくり会議<sup>\*</sup>の地域まちづくり部会と市が協力して、広く地域住民から意見を募るとともにアンケート調査を実施。「気軽に集える憩いや交流の場があるまちにする」「地域の資源を生かしたまちづくりをする」など、まちづくりの方向性をまとめました。

<sup>\*</sup>もみじ台まちづくり会議  
住みよいまちづくりのため協議、協力、情報交換を目的として、地域の自治会、福祉関係団体、学校関係、ボランティア団体など 55 団体が構成される会議



## 民間事業者による小学校の跡利用

まちづくりの方向性に沿って、もみじ台まちづくり会議の地域まちづくり部会で意見交換を重ねながら、閉校した学校の跡利用について検討した結果、民間事業者が保有するノウハウや資金を最大限活用し、地域の課題解決や活性化を図っていくため、現状のまま民間事業者へ売却しました。